

評価点が4点又は5点の場合は、水色の欄に、環境配慮設計の概要を具体的に記入してください。

CASBEE_Sapporo2014v1.2
公営住宅(発寒団地1号棟)

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階				重点評価項目					■A:省エネルギー		■B:省資源		■C:緑化		■D:雪処理								
配慮項目	重点評価項目	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体														
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数															
Q 建築物の環境品質																									
Q1 室内環境																									
1 音環境																									
1.1 騒音																2.0		0.15		2.9		1.00		2.6	
1.2 遮音																3.0		0.50		3.0		0.50			
1.2.1 開口部遮音性能																1.0		0.50		2.8		0.50			
1.2.2 1 開口部遮音性能																1.0		1.00		3.0		0.30			
1.2.2 2 界壁遮音性能																-		-		3.0		0.30			
1.2.2 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																-		-		2.0		0.20			
1.2.2 4 界床遮音性能(重量衝撃源)																-		-		3.0		0.20			
1.3 吸音																-		-		-		-			
2 温熱環境																1.0		0.35		2.7		1.00		2.2	
2.1 室温制御																1.0		1.00		3.7		0.50			
2.1.1 室温																-		-		3.0		0.63			
2.1.2 外皮性能											A					1.0		1.00		5.0		0.38			
2.1.3 ゾーン別制御性																-		-		-		-			
2.2 湿度制御																-		-		3.0		0.20			
2.3 空調方式																-		-		1.0		0.30			
3 光・視環境																2.2		0.25		3.4		1.00		3.0	
3.1 屋光利用																3.0		0.40		4.0		0.40			
3.1.1 屋光率																-		-		5.0		0.50			
3.1.2 方位別開口																-		-		3.0		0.30			
3.1.3 屋光利用設備											A					3.0		1.00		3.0		0.20			
3.2 グレア対策																1.0		0.40		3.0		0.40			
3.2.1 屋光制御											A					1.0		1.00		3.0		1.00			
3.2.2 映り込み対策																-		-		-		-			
3.3 照度																3.0		0.20		3.0		0.20			
3.4 照明制御																-		-		-		-			
4 空気質環境																3.0		0.25		3.1		1.00		3.0	
4.1 発生源対策																3.0		0.60		3.0		0.63			
4.1.1 化学汚染物質																3.0		1.00		3.0		1.00			
4.1.2 アスベスト対策																-		-		-		-			
4.2 換気																3.0		0.40		3.3		0.38			
4.2.1 換気量																-		-		3.0		0.33			
4.2.2 自然換気性能																-		-		4.0		0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮																3.0		1.00		3.0		0.33			
4.3 運用管理																-		-		-		-			
4.3.1 CO ₂ の監視																-		-		-		-			
4.3.2 喫煙の制御																-		-		-		-			
Q2 サービス性能																-		0.30		-		-		2.6	
1 機能性																2.6		0.40		2.0		1.00		2.1	
1.1 機能性・使いやすさ																4.0		0.40		2.0		0.60			
1.1.1 広さ・収納性																-		-		-		-			
1.1.2 高度情報通信設備対応																-		-		2.0		1.00			
1.1.3 バリアフリー計画																4.0		1.00		-		-			
1.2 心理性・快適性																1.0		0.30		2.0		0.40			
1.2.1 広さ感・景観																-		-		1.0		0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース																-		-		-		-			
1.2.3 内装計画																1.0		1.00		3.0		0.50			
1.3 維持管理																2.5		0.30		-		-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計																3.0		0.50		-		-			
1.3.2 維持管理用機能の確保																2.0		0.50		-		-			
1.3.3 衛生管理業務																-		-		-		-			
2 耐用性・信頼性																2.9		0.30		-		-		2.9	
2.1 耐震・免震																3.0		0.50		-		-			
2.1.1 耐震性																3.0		0.80		-		-			
2.1.2 免震・制振性能																3.0		0.20		-		-			
2.2 部品・部材の耐用年数																3.2		0.30		-		-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数																5.0		0.22		-		-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																2.0		0.22		-		-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔											B					3.0		0.11		-		-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔											B					-		-		-		-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔											B					3.0		0.22		-		-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔											B					3.0		0.22		-		-			
2.4 信頼性																2.4		0.20		-		-			
2.4.1 空調・換気設備																3.0		0.20		-		-			
2.4.2 給排水・衛生設備																3.0		0.20		-		-			
2.4.3 電気設備																1.0		0.20		-		-			
2.4.4 機械・配管支持方法																3.0		0.20		-		-			
2.4.5 通信・情報設備																2.0		0.20		-		-			
3 対応性・更新性																3.2		0.30		2.9		1.00		2.9	
3.1 空間のゆとり																-		-		2.8		0.50			
3.1.1 階高のゆとり																-		-		4.0		0.60			
3.1.2 空間の形状・自由さ																-		-		1.0		0.40			
3.2 荷重のゆとり																-		-		3.0		0.50			
3.3 設備の更新性																3.2		1.00		-		-			
3.3.1 空調配管の更新性																3.0		0.20		-		-			
3.3.2 給排水管の更新性																4.0		0.20		-		-			
3.3.3 電気配線の更新性																3.0		0.10		-		-			
3.3.4 通信配線の更新性																3.0		0.10		-		-			
3.3.5 設備機器の更新性																3.0		0.20		-		-			
3.3.6 バックアップスペースの確保																3.0		0.20		-		-			
Q3 室外環境(敷地内)																-		0.30		-		-		2.7	
1 生物環境の保全と創出																2.0		0.30		-		-		2.0	

CASBEE_Sapporo2014v1.2
公営住宅(発寒団地1号棟)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
2 まちなみ・景観への配慮											
3 地域性・アメニティへの配慮											
3.1 地域性への配慮、快適性の向上											
3.2 敷地内温熱環境の向上											
LR 建築物の環境負荷低減性											
LR1 エネルギー											
1 建物外皮の熱負荷抑制											
2 自然エネルギー利用											
3 設備システムの高効率化											
集合住宅以外の評価(3a,3b)											
集合住宅の評価(3c)											
4 効率的運用											
集合住宅以外の評価											
4.1 モニタリング											
4.2 運用管理体制											
集合住宅の評価											
4.1 モニタリング											
4.2 運用管理体制											
LR2 資源・マテリアル											
1 水資源確保											
1.1 節水											
1.2 雨水利用・雑排水等の利用											
1 雨水利用システム導入の有無											
2 雑排水等利用システム導入の有無											
2 非再生性資源の使用量削減											
2.1 材料使用量の削減											
2.2 既存建築躯体等の継続使用											
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用											
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用											
2.5 持続可能な森林から産出された木材											
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み											
3 汚染物質含有材料の使用回避											
3.1 有害物質を含まない材料の使用											
3.2 フロン・ハロンの回避											
1 消火剤											
2 発泡剤(断熱材等)											
3 冷媒											
LR3 敷地外環境											
1 地球温暖化への配慮											
2 地域環境への配慮											
2.1 大気汚染防止											
2.2 温熱環境悪化の改善											
2.3 地域インフラへの負荷抑制											
1 雨水排水負荷低減											
2 汚水処理負荷抑制											
3 交通負荷抑制											
4 廃棄物処理負荷抑制											
3 周辺環境への配慮											
3.1 騒音・振動・悪臭の防止											
1 騒音											
2 振動											
3 悪臭											
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制											
1 風害の抑制											
2 砂塵の抑制											
3 日照障害の抑制											
3.3 光害の抑制											
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策											
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策											